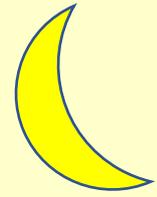


いろいろな 《猫町》



「同じ一つの現象が、その隠された「秘密の裏側」をもっていることほど、メタフィジックの神秘を包んだ問題はない。私は昔子供の時、壁にかけた額の絵を見て、いつも熱心に考え続けた。いったいこの額の景色の裏側には、どんな世界が秘密に隠されているのだろうと。私は幾度か額をはずし、油絵の裏側を覗いたりした。そしてこの子供の疑問は、大人になった今日でも、長く私の解きがたい謎になっている。」（『猫町』）

『猫町』は、詩人である朔太郎が書いた数少ない小説の一つで、今でも美しいデザインやイラストが添えられ読み続けられています。世田谷文学館では、この小説を、機械じかけの自動からくり人形箱でご紹介しています。箱の中で、幾何学的な街並みに佇む人形が、一回転しながら異世界との遭遇の物語を語り始めます。光と音と言葉が織りなす、もうひとつの《猫町》をご覧ください。

*メタフィジック（形而上学。哲学の一分野で、感覚や経験を超えたところにあるものの本質を探求する学問）



ムットーニ《猫町》（1994年 原作：萩原朔太郎『猫町』）

*ムットーニ＝自動からくり人形作家・武藤政彦